

令和6年度第5回埼玉県東部地域医療構想調整会議 議事概要

1 日時及び会場

令和7年3月11日（火） 午後7時30分から午後8時25分
埼玉県春日部地方庁舎 3階 大会議室（ウェブ会議システム併用）

2 出席者

- ・調整会議委員（別紙名簿のとおり）

委員総数27名 出席23名

- ・事務局

保健医療政策課、医療整備課、医療人材課、春日部保健所、草加保健所、越谷市保健所

- ・医療機関説明者

春日部厚生病院、埼玉草加病院、埼玉東部循環器病院（議事（1）のみ）
秀和総合病院（議事（2）のみ）

- ・傍聴者

3人

- ・地域医療構想アドバイザー

埼玉医科大学 医学部特任教授 小野寺 亘氏

3 あいさつ

中村会長（春日部市医師会会長）

4 議事

冒頭でこの会議を公開とする旨の発議があり了承された。その後、以下の議事を行った。

（1）病床整備の進捗状況について

医療整備課から資料1-1に基づき、過去の公募で配分した病床整備の進捗状況（令和7年2月末時点）について説明がなされた。その後、資料1-2から1-4に基づき該当医療機関より進捗状況の報告がなされた。

【主な質疑・応答】

なし。

【主な意見等】

なし。

(2) 医療機関の対応方針の協議・検証について

保健医療政策課から、「医療機関対応方針一覧」について医療機関から変更の申出があったことから資料2-1のとおり修正し、越谷市立病院が公立病院経営強化プランを変更する旨説明がなされた。また、資料2-2については修正がない旨説明があった。その後、資料2-3及び資料2-4に基づき公立病院経営強化プランの変更の申出をした越谷市立病院、資料2-5に基づき病床機能の変更の申出をした秀和総合病院から変更内容の説明がなされた。質疑応答の後、変更内容について承認された。

【主な質疑・応答】

Q (秀和総合病院について) 病棟を稼働させ、医療機能も見直すとのこと。スタッフの確保は支障ないか。(春日部市医師会 中村委員)

A 現在は休棟中であるが、急性期病床→慢性期病床となると看護師の数は減ることとなる。確保はなされていないが、新規採用を含めて確保する。(秀和総合病院)

【主な意見等】

- ・ (越谷市立病院について) 公立病院は公立病院改革プランに沿った病院運営をすべき。地域の基幹病院として急性期医療の役割をもって、機能の分化・連携をすべき。周囲の理解が得られているようで支障なし。(病院団体協議会・西村委員)

(3) 令和6年度外来機能報告に係る紹介受診重点医療機関の協議について

保健医療政策課から資料3に基づき、令和6年度外来機能報告結果による紹介受診重点医療機関の協議を実施する旨説明がなされた。

まず、紹介受診重点外来の基準を満たし、継続を希望する医療機関について協議し、事務局(案)のとおり承認された。

次に、基準を満たしているが、意向を有さない医療機関について、事務局が事前に確認した医療機関の意向を説明した後に協議を行った。その後、事務局(案)のとおり承認された。

最後に、基準を満たしていないが、継続を希望する医療機関について対象の獨協医科大学埼玉医療センターに意向の確認を行った。その後、事務局(案)のとおり承認された。

【主な質疑・応答】

なし。

【主な意見等】

なし。

4 地域医療構想アドバイザー 小野寺氏コメント

2040年に向けた新たな地域医療構想について。現在、国で検討作業が進められており、2025年度にガイドラインが設けられ、2026年度にかけて県でも策定作業が求められる。入院医療だけではなく、本日議論のあった外来・在宅医療、介護との連携など、より地域医療体制全体に及ぶ内容となる。県からも積極的に情報提供をしていただき、地域の実情に応じた議論をされたい。

- 5 その他
なし。